

かわぐち合唱団、代表、小川喜也

音楽を作っていく喜び!!



11月30日の練習から

曲の表現を確かめながら、指揮者の矢ヶ部先生とピアニストの小島先生と団員の皆さんとで、音楽を作っているという喜びを実感したひと時でした。

(旅立つ日)

{ゆけ旅に今こそ}: 「ゆけ」の「け」は四分音符分伸ばすこと。

「ゆけ」は、[!]がついているつもりで歌うこと。アクセルを踏みっぱなしで進むつもりで。「今こそ」のあとは、休符を入れて、必ずブレスすること。

{はてしない}: の前でブレスして、「は」は4拍目に入る。

段階的に表情に変化をつけること。

{やまじをゆけ}: mp。「け」は、2拍のばす。

{くさはらにくさひばり}: pで。「く」のタッチをそろえる。「く」に行こうとする力を持ってブレスを短くする。

{光はみなぎり}: ppでドルチェ。

{ああ}: mfで「あ」の上にアクセント

{わきあがる喜びのうたごえ}: pからクレッシェンド。

{ゆけ旅に今こそ}: ff

{はてしないうみべをゆけ}: mp

{やまなみに一かぜわたり} pで。

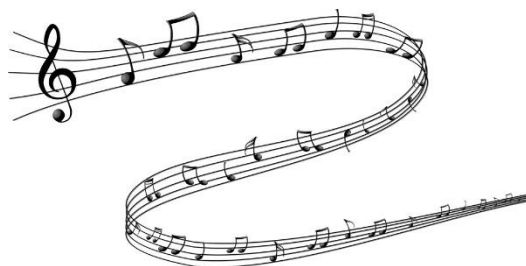
{われをいざなう}: pp

{ああ}: mfで「あ」の上にアクセント。

{わきあがる 希望のうたごえ} pからクレッシェンド。

{ゆけたびに いまこそ} ff。「ゆ」は、八分音符分、時間をかけて歌うこと。「け」はあまり大きくしない。

{あこがれーになわれーて}: ff。「あこがれーに」は、指揮者とよくコンタクトを取ること。「て」は、決然と押し切りで。



(愛の讃歌)

1 番

{わたし}: 「あたし」に統一。
{あなたの～生きていきたいの}: ソプラノはアルトのメロディを歌う。



{ただいのちのかぎり ～あなたを愛したい}: ここからは、楽譜通り歌う。「ただ」のあとの和音は初めから、カチツとはいること。「愛したい」は、アルトをもっときかせること。

Cupo (くぐもる。暗い。内に秘めた感じ) の部分

{ほほとほほよせて}: 「て」はフェルマータ
{あなたとふたりで}: 「で」はフェルマータ
{なんにもいらない}: 「い」はフェルマータ
{あなたとふたりでいきでゆくよ}: 「よ」はフェルマータ
{あなたとふたりー}: 「ふたり」は rit. この後はポルタメントしてあー。

2 番

{かたくいだきあい～こいよ こいよ}: ソプラノも楽譜通りに歌う。
「こいよ 1 2 3 4, 1、ウンこいよ」。最後の「こいよ」の和音の音をしっかりと響かせる。

ご自由にご書いてつづやきを小嶋までお寄せください。(切り取って下さい。) 待っています。

